

事業者向け 放課後等デイサービス評価表

平成29年度 コンプリオ第二事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			ロッカーや机の配置を変えながらスペースの確保や過ごしやすさに配慮している
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	<input type="radio"/>			経験者や有資格者を配置している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			マットの高さを揃えバリアフリーに配慮している
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			モニタリング等全員参加のミーティングで行い業務の改善に努めている
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の移行等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			概ね1年毎に面談の機会を設け、聞き取りを行っている
	⑥	この自己評価結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			<input type="radio"/>	平成30年3月に実施予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			経験年数にあわせて適切な研修の提案を行っている
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		<input type="radio"/>		項目を増やすなどをしてアセスメントシートの改良を図り、ご利用者様のニーズをより把握できるよう努めたい
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			<input type="radio"/>	個人やその時によって使用している時もあるが、一つに決めていない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			毎月のミーティングで決めている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			季節や個人に合わせた活動を提案している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			<input type="radio"/>	利用時間によってそれぞれの課題を意識し、活動を決めている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個人の状況に応じてそれぞれに必要な計画を立てている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			<input type="radio"/>	利用開始時間がバラバラなため必ず行えていないが、行える時にはしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			<input type="radio"/>	退勤時間がバラバラなため毎回行えていないので、ミーティング時に共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか			<input type="radio"/>	支援の検証等はミーティング時に行っている。記録の抜けがないようチェック体制を整えている

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			月1回のミーティングを行いその際モニタリングを行っている。それ以外にもケースを上げ見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			自立活動、創作活動、地域交流、余暇支援を組み合わせている
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管またはその子と最もかわりがある人が参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		年度初めに担任と話し連絡を取るようになっているが、基本は保護者との連絡を通して
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	保護者を通しての連絡を取っている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者からの情報提供をいただいている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	依頼があれば提供している
	㉕	児童発達センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	近隣のセンターではないが専門機関や専門家との連携、研修を行っている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	近隣の公園や児童センターへ行くことはある
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	出来る時はしている
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時に申し送りをし共有している
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	明確なトレーニングは行っていないが面談時や連絡帳のやり取りでアドバイスをしたり頂いたりしている
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行う他、質問等あれば説明している
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があればその都度話し、その場での返答が無理な場合は専門機関へ相談している
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	プライバシーの観点から保護者会は行っていない
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			○	苦情受付シートを社内で共有しているが当事者以外への周知は必要に応じて行う
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	平成30年度より実施予定

	③⑤	個人情報に十分注意しているか		○		カルテ等見えずらい場所にあるが施錠はしていない
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		外国の方や今後手話が必要になった場合の対応は現状難しい
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	特に行っていない
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		社内で共有はしているが保護者には緊急時対応マニュアルのみ周知している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回避難訓練を行っている
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		毎年1名以上の参加を目指している
	④②	どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		想定できることに関しては計画書に記載しているが想定外の時は事後報告になる場合もあり得る。身体拘束を行わない工夫を優先している
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギーがわかっている場合は必ず医師の指示書を提供してもらっている
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		ミーティング時に共有しているが事例集はない